

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年8月6日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870500246		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム センチュリーの里	ユニット名	ゆり
所在地	〒315-0048 茨城県石岡市三村6284-7		
自己評価作成日	平成26年12月30日	評価結果 市町村受理日	平成27年8月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870500246-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&amp;JigyosyoCd=0870500246-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年2月17日	評価機関 決 済 日	平成27年8月5日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者・利用者家族・職員を含めて家族として生活することで、個人の能力を最大限活かして過ごせるよう職員一同努めております。また、月に一度、お楽しみ献立を取り入れ、楽しめる時間と空間を提供出来るよう心掛けております。  
地域とのつながりを大切に、行事へは積極的に足を運んで参加しております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は運営母体が医療機関で、特別養護老人ホームや通所介護事業所、在宅介護事業所が隣接しており、利用者の状況に応じて適切な介護や医療を提供できるシステムとなっているほか、災害時の協力体制も構築されているため、利用者や家族等のみならず職員の安心にもつながっている。  
職員は利用者一人ひとりの生活リズムを大切に、できるだけ利用者の思いを尊重した個性のあるケアサービスを心がけ、墓参りや初詣に一緒に出かけるなど、できる範囲で支援を行っている。  
隣接している特別養護老人ホームに定期的にボランティアに来る習字や英会話、生け花の教室に利用者も一緒に参加したり、パンの移動販売が来たりと利用者の楽しみごとや金銭管理の支援をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念をホーム内に掲示し、実践を心掛けております。また、地域の一員として生活し、「社会交流」を持てるよう努めております。	現在の理念は平成23年に管理者と職員が一緒に話し合いを行い、法人の理念をわかり易い言葉に置き換えて目標に掲げている。 理念と目標を玄関や事務室に掲示するとともに、毎月の職員会議において目標の達成度や理念の意義、見直しについても話し合い、実践につなげるよう努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	産業祭に出掛けたり、近隣小学校の運動会や催事の招待を受けて参加しております。また、特養と合同の敬老祝賀会や誕生会などで交流を図っております。	事業所は町内会には加入してはいませんが、職員は地域の清掃活動に参加しているほか、利用者と一緒に地元の「多聞祭」に参加したり、市が開催する「産業祭」などに出かけ、地域住民との交流に努めている。 事業所で行う敬老会や花火大会には地元の人たちを招待したり、小学校や中学校の職場体験学習の場として提供するなど、地域に根ざした事業所づくりに努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事に利用者とともに参加しています。年3回広報誌を発行し、地域の方々へ理解を深めていただくツールとして活用しています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度運営推進会議を開催し、参加者へ利用者の現況を報告しています。また、同時に利用者の生活をご覧いただき、意見を拝聴してサービスの向上に努めております。	運営推進会議は利用者や家族等、市職員、民生委員、区長などの構成メンバーで、2ヶ月に1回開催している。 会議では利用者の生活の様子を報告するだけでなく、委員から出された要望を受け、事業所で家族等や運営推進会議のメンバーにAEDや手洗い方法についての勉強会を開催している。 認知症高齢者や事業所の活動を周知してもらうために、区長の協力を得て年に3回、地区の回覧板に事業所の広報誌を回覧している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の協議会に加盟し、研修へ参加したり、運営推進会議に招いて関係を強化しております。	毎年行う市の実施指導や、年に3回市が開催する「地域密着型連絡協議会」の研修会に参加して情報交換を行ったり、必要に応じて運営上の報告や疑問点を相談するなど、良好な協力関係を構築している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を定期的開催し、拘束をしないケアに取り組み、自由に行動出来るよう支援しています。	2ヶ月に1回「身体拘束廃止委員会」が中心となって職員の内部研修を行い、身体拘束を行うことによる弊害について認識を深める取り組みを行っている。 日中は玄関を施錠せず、チャイムを設置して利用者の出入りを確認している。 帰宅願望や徘徊する利用者に対しては、抑制することなく利用者の行動を見守りによる支援をしている。 現在身体拘束行為は行っていないが、緊急時ややむを得ず拘束する場合を想定し、経過観察記録等の書類を整備している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内にポスターを貼り、日々注意喚起を促しています。その上で職員同士で話し合いを持ち、虐待防止に努めています。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されている方がいらっしゃるので、研修の機会があれば積極的に参加し、職員間で情報を共有するようにしております。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には読み合わせを実施し、説明内容の了承を得た上で契約をしています。また、法制度改正がある場合には事前説明の案内を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱」を設置し、要望を承っております。家族への利用者の状況報告は密にし、施設運営への反映に努めています。	事業所では家族等からの要望を受け、病院の送迎を代行したり、退院して戻ってきた利用者の食事形態について家族と相談し変更するなど、できる範囲で利用者や家族等の要望に応えられるよう支援している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議などで管理者との意見交換を行っています。	管理者は月1回法人全体の職員会議やユニット会議、グループホーム全体会議で職員からの意見を聴取している。 管理者は職員とのコミュニケーションを大切に考え、常に職員の意見を傾聴し、トイレにパッドを流してしまう利用者のパッドをシール付きのものに変えて迅速に対処するなど、できる範囲で職員の意見を反映している。 管理者は職員の配置やできるだけ職員の希望にそった勤務形態と有休の確保について考慮している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	積極的に職員同士でコミュニケーションを図り、なんでも話せる関係が築けています。その上で管理者は上長へ職員の思いを伝えられるように努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県や市の研修への参加、内部研修を受講する機会を設けています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修に参加した際に交流を持ち、意見交換を行ってサービス向上に努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前調査を行う際に、利用者の性格や考え方、気持ち、好き嫌い等を細かく聞き出し、本人が安心して生活を送れるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に施設を見学していただき、不明な点や要望を伺って、ご本人が安心して過ごせるよう、家族の不安を取り除くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の意向を把握し、安心してサービスが受けられるよう支援することに努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は介護者だけでなく、生活を共にする家族という認識を持ち、悩みを聞いたり励ましあったりと信頼関係を築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と連絡を取り、状況を伝えて可能な限りの協力を家族にお願いし、職員と共に支えていく関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	デイサービスに来ている馴染みのある方に会いに行ったり、ドライブに連れ出して本人の懐かしい場所を訪れたり、それまでの繋がりを保てるよう努めています。	職員は併設する通所介護事業所に、入居者の友人が利用する日は必ず会いに連れて行ったり、地元のスーパーと一緒に買い物に行くなど、利用者を取り巻く環境や人間関係が維持できるよう支援している。 職員は事業所に設置している公衆電話を利用して家族等へ電話を取り次いだり、墓参りに同行するなど、できる範囲で支援している。 職員で対応できない場合は、利用者の意向を家族に伝え、家族等の協力を得て外食に行くなど、利用者本位の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士和やかに話をしたり、職員が間に入って手助けをしながらレクリエーション、散歩、体操を行い、楽しく過ごせるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院の為退所となった方にも、その後の様子を伺いに訪れたり、家族へ連絡を取り経過を聞いたりしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや意向を聞き、希望に沿ったケアに努めています。	生き甲斐のある生活を支援するため、昨年9月より利用者毎に担当職員を決めて利用者や家族等の希望等を聴取し、センター方式シートを活用して職員間で情報を共有している。 意思表示が困難な利用者には、日々の言動や表情から利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努めるよう心がけ、あらたに知り得た情報はシートに記載するように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の情報や生活を送りながら新たに情報を得て、その人らしい生活を尊重してケアに努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりのペースで生活出来るよう支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者からの意見やアイデアを参考にし、その人らしい生活が出来るよう介護の計画を作成しています。	介護計画は利用者や家族等、職員、医師等の意見やモニタリングで得た情報をもとに、計画作成担当者が6ヶ月に1度定期的に作成している。 毎月モニタリングを実施し、利用者や家族の満足度を評価している。 利用者の状態に応じて必要があれば随時見直しも行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別に記録し情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々に合わせて、その時の状況に沿ったケアを実践しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者との関わりのあった人達や、様々な外部機関との関係を保てるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望の医療機関への受診を支援しています。	利用者や家族等の希望を優先に、かかりつけ医を決定している。 週に1度の訪問歯科診療や2ヶ月に1度の訪問眼科診療が来訪しており、希望に応じて受診できる体制となっている。 運営母体の病院や隣接する特別養護老人ホームの看護師と、24時間緊急時においても対応可能な協力体制を築いている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に利用者の健康状態を観察し、変化がある時は併設の特養看護師に相談しています。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院、退院時に相互の情報交換を密にし、医療機関との関係を構築しています。	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人にとって一番良い方法を家族と話し合っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修で定期的に上級救命講習を受講し、実践力を身に付けています。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、併設の特養と合同で防災訓練を行っています。また夜間想定避難訓練も行っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮し、利用者を傷つけないよう言葉を選びながら声掛けをしています。	職員の採用時には必ず接遇マナーの研修を受けることになっており、職員は利用者の誇りやプライバシーを傷つけないように場面に応じた言葉かけや対応に努めている。 利用者の契約書や重要事項説明書は併設する本部の事務室で、個々のケース記録や申し送りノートは各ユニットの事務室の施錠できる書棚で管理し、情報の漏洩に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を聞いて自己決定を促せるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースを優先して生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みに合った身だしなみや季節に応じたおしゃれができるようにさりげなく助言しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月に一度お楽しみ献立を計画し、要望を聞いてメニューを考えています。	職員は利用者の嗜好調査を実施しているほか、月1回お楽しみ献立を取り入れ、利用者の希望する食事を提供している。 生魚を食べたいとの要望が多いことから、誕生会の時は刺身と赤飯を提供している。 併設する事業所の栄養士が献立とカロリー計算を行い、職員が利用者の健康状態に応じ、きざみ食やとろみ食、嫌いな食材の時は代替食を提供するなどの配慮をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスの良い献立で食事量、水分量を個々にチェックしています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの声掛けと就寝前の口腔ケア支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンによる声掛けと介助を行い、失禁を減らす支援をしています。	職員は利用者一人ひとりの排泄チェック表をもとにそれぞれの排泄パターンを把握し、定期的な声かけとトイレでの排泄を心がけている。 事業所では利用者の体型や尿量、時間に応じて形成や吸収力の違うパッドやおむつを使い分け、適切な排泄支援をしていたことで、おむつからリハビリパンツや布パンツに改善した利用者もいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促したり、体操などの運動で便秘予防に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴を行っていますが、少なくとも2日に一度は入浴していただけのように支援し、ゆっくりと楽しんでいただいております。	利用者の意向にそうように入浴日と時間は設定しておらず、好きな時間に毎日でも入浴ができるよう支援している。 入浴前には必ずバイタルチェックを行い、利用者の健康状態によっては清拭やシャワー浴などを支援している。 利用者から「広い浴槽に入りたい」との要望があり、日曜日には併設する特別養護老人ホームの風呂を借りて入浴したり、季節に応じて柚子湯を行ったりして入浴を楽しんでもらえるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別の生活パターンに合わせた安眠や休息を支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方された薬はしっかり確認し、薬情はファイリングしてすぐに確認出来るようにしています。 朝・昼・夕をチェックし、服薬者の名前と薬を点呼確認して支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴を把握して、個人が尊重され、その人らしい役割が持てるよう努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候等を考えながら気分転換に出掛けられるようにしています。ホームで計画した外出の他、家族による外出等を支援しています。	年度初めに定期的な行事での外出計画を立てているほか、月2回の買い物日を設定している。利用者の健康状態に応じ、園内の散歩や中庭にある池の金魚に餌を与えに出たり、テラスでの外気浴を楽しむなどの支援を行っている。新年に「初詣に行きたい」という利用者の要望から、職員は利用者と一緒に参拝に行ったり、産業祭に出かけたりと出来る範囲で外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人、家族の希望に応じてお金を所持し、電話や買物の支援を行っています。	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて電話等の支援を行っております。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節によって花や飾り付け等を行い、季節を感じていただけるように心掛けています。	玄関横にはソファとテーブルを配置し、いつでも面会者と団らんでできる場所となっている。玄関や食堂、台所などあちらこちらにたくさんの植鉢や切り花が飾られているほか、廊下の壁面には利用者が書いた習字や行事の写真などが掲示されており、季節感や事業所での暮らしぶりを感じられる空間となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士、気の合う方と話しやゲームが出来るように配慮しています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある物を持ち込んでいただき、自宅にいる雰囲気を提供し、心地良く過ごしていただけるよう支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は床をフルフラットにし、手摺等を設置して歩行に支障の無いよう安全に暮らせるような環境を提供しています。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない